

コラム 30—中村燦氏の対中国不信論

昭和史研究所代表であった元独協大学教授・故中村燦氏は、対中国不信について、次のように述べています。

「シナは日清戦争後の遼東半島返還及びその後のロシアへの割譲など、シナの二重政策に大きな国責がある。シナはお家芸の以夷制夷政策で、欧米勢力と結んで我が国の在満権益を空文化しようと策謀した。」

さらに、中村氏は、当時最有力の排日団体だった「湖北全省商界外交後援会」による捏造した「要求書」を流して反日感情を掻き立てたと証明しています。